学校番号	１２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新地理Ａ」（帝国書院）						
副教材等	新地理Ａノート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の生活・文化の多様性を知る。
・地球的課題について地理的観点から考える。
・自然災害と防災について考える。
・生活圏の地理的課題について考える。

２　学習の到達目標

・世界諸地域の生活や文化について、興味関心をもち自ら学ぶ姿勢をもつ。
・現代世界の成り立ちと諸課題を、世界的視野から地域レベルまで捉える能力をつける。
・身近な地域の防災に関する知識と意識を持ち、自ら進んで行動できるようになる。
・各種の地図や統計を読みこなし、地理的見方・考え方や技能を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1部　世界の諸地域の姿と地球的課題	1章　地球儀や地図からとらえる現代世界	○	○	○	○	a:地上の現象と地球上の位置についての関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:地上の現象と地球上の位置について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地上の現象や地球上の位置に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:地球上での位置や，緯度・経度の基本的なしくみを習得するとともに，それらに関する知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
1学期	1部　世界の諸地域の姿と地球的課題	2 章　人間生活を取り巻く環境	○	○	○	○	a:世界の大地形に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の大地形の成り立ちについて，地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の大地形に関する地図などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 内的営力と外的営力および大地形に関する基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2学期	1部　世界の諸地域の姿と地球的課題	3 章　世界の諸地域の生活・文化	○	○	○	○	a:中国の自然環境に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:中国の自然環境について，内陸部と沿岸部，南部と北部を対比しながら多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:中国とその周辺の自然環境に関する地図やグラフ，画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:中国の自然環境について，内陸部と沿岸部，南部と北部の対比をふまえながら，基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
3学期	1部　世界の諸地域の姿と地球的課題	4 章　地球的課題と私たち	○	○	○	○	a:複雑にからみ合う地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:直面する地球規模の課題を見出し，それを地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地球的課題のさまざまな結びつきを表す図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:複雑にからみ合う地球的課題について，その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し，基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

3学期	2部 身近な地域の課題	2章 日本の自然環境と防災	○	○	○	○	a:日本の自然環境と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:日本の自然環境の特徴と，起こりうる災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:日本の地形や気候を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:日本の自然環境と自然災害についての基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
3学期	2部 身近な地域の課題	3章 身近な地域の課題と地域調査	○	○	○	○	a:身近な地域への関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:身近な地域の課題を見出し，それを地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:身近な地域に関する諸資料を収集し，地域の課題について有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:身近な地域の課題と地域調査についての基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現

c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。